

第1回東大阪市オリジナル市民ミュージカル 『100 - ONE hundred』 制作発表開催に関するお知らせ

2023年5月29日（月）16:30～17:20（受付：16:00～）

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

東大阪市文化創造館（指定管理者：PFI 東大阪文化創造館株式会社）は、2023年11月26日（日）に上演する「第1回東大阪市オリジナル市民ミュージカル『100 - ONE hundred（ワンハンドレッド）』」の制作発表を下記の日程で開催します。ご多忙の折誠に恐縮ではございますが、本ミュージカルの取材を賜りたくご案内申し上げます。

敬具

－ 記 －

日時 2023年5月29日（月）16:30～17:20（受付：16:00～）
会場 東大阪市文化創造館 1階 多目的室 [大阪府東大阪市御厨南二丁目3番4号]
アクセス 近鉄奈良線八戸ノ里駅 北約200m 徒歩約5分
内容

- 主催者 挨拶
- プロデューサー、脚本家、作曲家挨拶
- 楽曲披露
- 質疑応答

出席者

- | | |
|-----------------|---------------|
| ・野田義和（のだ よしかず） | 東大阪市長 |
| ・徳尾浩司（とくお こうじ） | 脚本 |
| ・宮川彬良（みやがわ あきら） | 音楽 |
| ・阪本洋三（さかもと ひろみ） | 企画・演出／プロデューサー |

制作発表参加

制作発表への参加をご希望の際は、5月25日（木）までに 東大阪市長公室広報広聴室 広報課 にご連絡をお願いいたします。

TEL：06(4309)3102 メールアドレス：koho@city.higashiosaka.lg.jp

公演概要



▶公演名

**第1回東大阪市オリジナル市民ミュージカル
『100 - ONE hundred』**

▶公演日時

2023年11月26日(日) 14:00 開演 (13:30 開場)

▶会場

**東大阪市文化創造館 Dream House 大ホール
(東大阪市御厨南二丁目3番4号)**

▶制作

脚本：徳尾 浩司

音楽：宮川 彬良

企画・演出：阪本 洋三

▶チケット・発売開始日 (全席指定・税込)

・一般 S席 3,500円、A席 2,500円

・高校生以下 1,000円

・車椅子、介助者席 一般 2,000円、高校生以下 500円

スクラムメイト先行販売 7月15日(土) 10:00～

一般販売 7月29日(土) 10:00～

▶主催

東大阪市文化創造館

(指定管理者：PFI 東大阪文化創造館株式会社)

企画趣旨・作品説明

東大阪市文化創造館では、「東大阪市で新たな文化を創造する」、「市民が文化創造の営みに参加する」といった、館のミッションとも言える「文化創造の機会の提供」を具体的な企画として試みてきました。ローカル・コミュニティにはそれぞれの「物語」があり、長い時間をかけて大切にしてきたもの、大切に感じているもの、生き方の根底に根ざす哲学のようなもの、すなわち、「地域の文化」があると言えます。今回は東大阪を舞台に、この土地に住む人たちが大切にしてきたものは何か、何を受け継ぎ、どのような考え方を発展させていけばいいのか、制作チームは模索してきました。

夢を抱き、新たなことに挑戦し、人との出会いや絆を大切にする……。このミュージカルはそのような東大阪の人たちの生き様や人生哲学をテーマに取り上げた作品です。それらのテーマを脚本家である徳尾浩司氏の卓越した想像力と市民からの思いや、歴史や郷土のリサーチを通して練り上げていったものであり、さらに数年かけて練り続けていって、東大阪の「文化的な遺産」となるようなレベルまで高めていきたい、という、画期的で野心的なプロジェクトです。これまでの活動には、2018年「戯曲創作ワークショップ」、2019年「東大阪市内の名所旧跡を巡るフィールドワーク」、2021年「ミュージカル基礎講座」、そして2022年「脚本創作ワークショップ」等、があり、いずれも舞台芸術界のプロフェッショナルと市民とのコラボレーションを積み重ねてきたものです。そして今年2023年、ついに「第1回東大阪市オリジナル市民ミュージカル」を開催するに至りました。

この作品は、一流のクリエイター（脚本家・徳尾浩司 & 作曲家・宮川彬良）が市民との協働作業を経て東大阪を舞台に書き下ろし、一般公募で集まった出演者が演じる、ユニークなオリジナル・ミュージカルなのです。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

東大阪市文化創造館 担当：八田・西川・廣野 TEL：06-4307-5772 MAIL：engeki@higashiosaka.hall-info.jp

人々の絆、宇宙への夢、時を超える愛。

映画監督になりたくて東京に出ていた東城充（ミツル）は、父が「倒れた」という知らせを聞いて夢を半ば諦め、東大阪に戻って来た。充の父・兼彦は100年続く町工場を継いで欲しい、と思っているが、充とコミュニケーションをうまく取れないでいる。ある日、充は何かで導かれるまま、生駒トンネルに出現した電車に乗り込み、100年前にタイムスリップする。そこはかつて東大阪に存在した「東洋のハリウッド」と呼ばれる映画撮影所だった。そこで充は看板女優の高宮麗（レイ）や、実家の町工場創業者である曾祖父、東城彦一（ヒコイチ）に出会う……。

東大阪の名所・旧跡を舞台に、人々の絆、それぞれの夢、そして愛の物語が、時空を超えて壮大なスケールで展開する、オリジナル・ミュージカル・ファンタジー。

略歴／主な作品

脚本 徳尾 浩司

大学卒業後の2003年に劇団とくお組を旗揚げし、小劇場を中心に演劇活動を行う一方で『おっさんずラブ』、『私の家政夫ナギサさん』、『六本木クラス』、『unknown』などのテレビドラマ脚本を手がける。

今回のミュージカル『100-ONE hundred』はプロデューサーの阪本氏の依頼を受けて実現することになった。実は同じ高校の先輩、後輩である。

音楽 宮川 彬良

舞台音楽で作曲家デビュー、『身毒丸』『ハムレット』『天保十二年のシェイクスピア』で読売演劇大賞・優秀スタッフ賞を受賞。

また、ショーのために作曲した「マツケンサンバ II」が大ブレイク、舞台音楽からヒット曲を送り出した。

NHK『クインテット』で音楽を担当し自身も出演。連続テレビ小説『ひよっこ』の音楽など作編曲の他、「コンサートはショーである」を信条に精力的に演奏活動を行っている。

2022年エッセイ集「アキラさんは音楽を楽しむ天才」（NHK出版）を上梓。

企画・演出 阪本 洋三

プロデューサー、演出家。NHKドラマ・ディレクターを経て独立、ニューヨークで国際文化交流事業を目的としたNPOを設立、主宰、10年以上にわたって舞台芸術作品の制作・演出やドキュメンタリー番組の制作等を手掛けた。代表作にブロードウェイのクリエーター達と作ったミュージカル“Harlem Symphony”及び“Harlem Kids Symphony”、Ping Chongと共作・共同演出の『ガイジン〜もうひとつの東京物語』、『生きづらさを抱える人たちの物語』等がある。2014年より近畿大学文芸学部芸術学科舞台芸術専攻教授。

東大阪市文化創造館について

東大阪市文化創造館は、公共文化施設として優れた音響空間と上質な鑑賞環境を提供する1,500席の大ホールと300席の小ホールをはじめ、音楽・ダンス・会議・研修など各種用途に適した創造支援室や音楽スタジオなど20室を備えています。

また、1階にはどなたでもご利用いただけるカフェ「まちライブラリーカフェ」や、市民が持ち寄ったおススメの本で本棚を埋めていくライブラリー「まちライブラリー」を併設し、屋外には街角広場があり、多くの人々で賑わっています。

【概要】

施設名：東大阪市文化創造館（HIGASHIOSAKA Cultural Creation Hall）

所在地：〒577-0034 大阪府東大阪市御厨南二丁目3番4号

電話番号：06-4307-5772 FAX番号：06-4307-5778

ウェブサイト：<https://higashiosaka.hall-info.jp/>

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

東大阪市文化創造館 担当：八田・西川・廣野 TEL：06-4307-5772 MAIL：engeki@higashiosaka.hall-info.jp